

「ダンスセラピー研究」投稿規定

平成 24 年 9 月 1 日改定

平成 27 年 3 月 31 日改定

1. 本誌への投稿者（共著者を含む）は、日本ダンス・セラピー協会会員に限る。
2. 本誌の領域：ダンスセラピー並びにその周辺領域に関する学問の進歩に寄与し、未発表のものとする。
3. 原稿の区分と内容：本誌に掲載する原稿の種類は、以下のように区分する。

原稿区分	内容
1.総説	ダンスセラピーに関する研究における総括および網羅的な解説
2.原著	ダンスセラピーに関する独創的かつ深い考察に基づく研究論文
3.研究報告	原著に準ずるダンスセラピーに関する研究論文
4.症例報告	原著に準ずるダンスセラピーの症例を主とする研究論文
5.資料	ダンスセラピーに関して研究的にまとめられた有用な資料
6.短報	学術研究大会におけるポスター発表等の、将来的に上記 1～5 に該当する研究へ結びつく萌芽的研究の報告
7.活動報告	ダンスセラピーに関する実践活動などの価値ある報告
8.その他	上記区分に含まれないが、編集委員会で適当と認められた内容

4. 原稿の採択：原稿の採否は編集委員会が指名した 2 名の査読者による査読結果に基づき編集委員会において決定する。なお、完成原稿になるまでに編集委員会から区分の変更、書き直しの要請もありうる。
5. 著作権：本誌が採択し掲載した原稿の著作権は、すべて日本ダンス・セラピー協会に所属する。著作権使用については編集委員会に届け承認を得る必要がある。
6. 倫理規定：日本ダンス・セラピー協会倫理規定を順守すること。特に事例報告や実践報告における研究は世界医師会総会（World Medical Assembly）にて承認されたヘルシンキ宣言（1964 年承認、2008 年追加）の精神に則るとともに、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」（平成 20 年厚生労働省告示第 415 号、平成 21 年 4 月 1 日より施行）に従わなければならない。
7. 表題・抄録などの表示：総説、原著、研究報告、症例報告、資料の区分は全て、日本語の他に欧文による題名、所属、氏名をつけ、別紙に欧文による 300 語以内の抄録を和文訳とともに提出する（原則として欧文は英語）。短報、活動報告、その他はこの限りではない。投稿時にはネイティブ

チェックまたは英文校閲業者等により校閲済であること。

なお、原稿の表題ページには、 1) 総説、原著、研究報告、症例報告、資料、短報、活動報告などの別 2) 和文・欧文それぞれによる 3～5 語のキーワード を明記する。

8. 原稿の規定字数など：原則として区分ごとに以下の通りとする。

原稿の区分	上限字数
1.総説、2.原著、3.研究報告、 4.症例報告、5.資料	16,000 字
6.短報、7.活動報告	1,600～3,200 字
8.その他	編集委員会で協議

A4 版で 40×40 字で、横書きとする。本体は「～である」調、新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いる。写真掲載（アート紙）等の費用は著者負担とする。

9. 引用文献：必要最小限度とし、本文の最後に引用順に文献番号を振る。表記は医学雑誌の国際統一規定 Vancouver Style に準ずる。定期刊行物の表記は「著者名，論文名，誌名，発行年；巻（号）：ページ」の順、単行本の表記は「著者名，書名，発行年，発行所：発行地，引用ページ」の順とする。共著者は 3 名までとし、それ以上の場合は「他」と記す。

10. 外国語論文：英語のみ認める。その際、5,000 語を限度とする。投稿の際は、300 語以内の要約を和文訳とともに提出する。その他の点は、1～9 に記した条件と同じである。

11. 原稿の送付：原稿は Microsoft Word で作成し、E-mail に添付して提出する。

<投稿に関する問い合わせ・原稿の送付先>

〒630-8506 奈良市北魚屋西町奈良女子大学生生活環境学部

心身健康学科スポーツ健康科学成瀬研究室内

日本ダンス・セラピー協会学術研究誌編集委員会事務局

E-Mail：journal@jadta.org

TEL & FAX: 0742-20-3348